

お客さまへ ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)	禁止	

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。 (火災・感電の原因)	禁止	ランプは落としたり、(物を)ぶつかけたり、無理な力を加えない。 (ランプが破損してけがの原因)
禁止	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)	禁止	スイッチの引きひもを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。また、ランプにからませない。 (破損して落下の原因)
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)	注意	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

点検
 ■6ヶ月～1年に1回、機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条]
 ■48時間以上充電後、非常点灯持続時間が30分以下となったら蓄電池を交換する。

警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)

ランプ交換
 適合ランプ
 FHF32
 FL40S (EX)
 FL40SS (EX) /37
 FLR40S (EX)
 FLR40S (EX) /36

光束値の違うランプに交換する場合、照度範囲がかわります。

清掃
 ○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

注意
 ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない (高温のためやけどの原因)
 ○ランプはソケットに確実に取付ける (取付けが不完全な場合落下の原因)
 ○使用済みのランプは不用意に割らない (ガラスが飛散してけがの原因)

警告
 器具・ランプを水洗いしない (火災・感電の原因)

警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)

形名	FAH4322EA	FAK4322EA
適合蓄電池	8N25DA	4N25DA

蓄電池の交換必ず当社指定の純正部品を使用してください。

警告
 蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない
 また、火中に入れない(やけどや衣類損傷の原因)

Ni-Cd
 この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持ち込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

インタータ器具の取扱

■赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。)

■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。

■受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音が入る場合があります。

■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

警告
 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。
 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。(火災・感電の原因)

異常時の処置

三菱電機株式会社 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
 三菱電機照明株式会社 ☎(0467)41-2728 (施設照明営業課)
 連絡先 ☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

MITSUBISHI このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。 E767Z405H22
保管用

三菱非常用照明器具【蓄電池内蔵形】(高調波ガイドライン適合品)
Easyeco Super H形器具
 形名 FAH4322EA EGS, EG, PH <光束比50%>
 FAK4322EA EGS, EG, PH <光束比25%>

取扱説明書 電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ ○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
 ○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること
 ■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
 ▲警告、△注意の表示で区分して説明しています。
 表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
 ○絶対に行わないでください。
 !必ず指示に従って行ってください。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)	注意	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。(落下・感電・火災の原因)	禁止	器具を密集して取付けない。(10cm以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。 (劣化による落下の原因)	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の30%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。(火災・感電の原因)
禁止	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)	禁止	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	風呂場など水や湿気が多い場所では使わない。 (火災・感電の原因)	注意	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)	注意	調光専用器具以外は調光させない。 (器具が過熱して火災の原因)

お願い
 ■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
 ■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
 ■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下することがあります。)

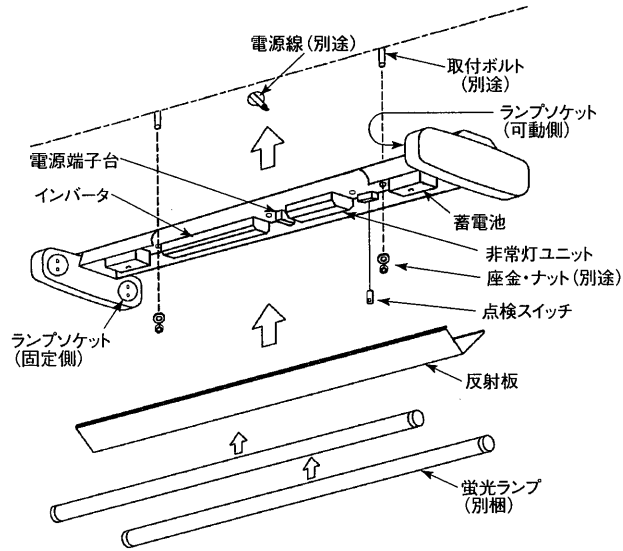
平常時は2灯点灯します。非常点灯時は、1灯のみが下表の光束値で点灯します。

ランプ	FAH4322EA		FAK4322EA	
	ランプ定格 光束 (lm)	光束比	ランプ定格 光束 (lm)	光束比
FHF32EX	3200	60%	1920	30%
FL40SW (SSW/37)	3100	50%	1550	25%
FL40S.EX (SS.EX/37)	3560	50%	1780	25%
FLR40SW (36)	3000	50%	1500	25%
FLR40S.EX (36)	3450	50%	1725	25%
			非常点灯時 光束 (lm)	非常点灯時 光束 (lm)
			3200	960
			3100	775
			3560	890
			3000	750
			3450	863

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

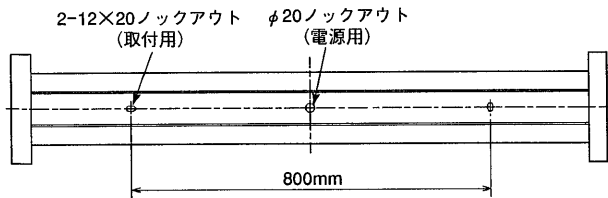
各部のなまえと取付けた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



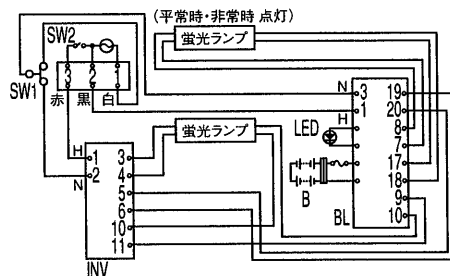
<上図はFAH4322EAを示す>

取付穴 (単位 mm)



接続図

- 記号・名称
 B : 蓄電池
 BL : 非常灯ユニット
 INV : インバータ
 LED : 充電インジケータ
 SW1 : 点検スイッチ
 SW2 : 消灯スイッチ



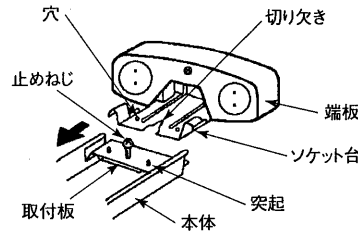
1 取付前の確認

器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確認する。

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

2 ソケット台を取付ける

- (1) ソケット台 (前面カバー・端板付) を本体より取り出す。
- (2) ソケット台の取付けは、矢印方向より取付板の突起にソケット台の穴を、止めねじにソケット台の切り欠きを差し込んでから、止めねじで確実に固定する。



3 器具本体を取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

4 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

⚠警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

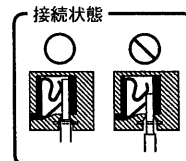
⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種 (第3種) 接地工事がが必要です。>

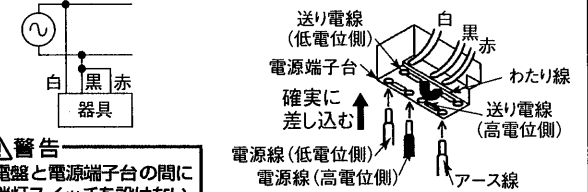
- 電源端子台の容量は20Aです
- 適合電線: φ1.6mm単線 φ2.0mm単線
- 電源線は専用回路にする。

⚠警告
送り配線は非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ連結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

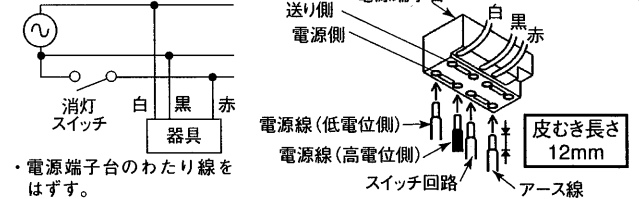


<単相2線2線引き・平常時消灯しない場合>



⚠警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない

<単相2線3線引き・平常時消灯する場合>



- 通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
- 使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

5 反射板を取付ける

点検スイッチの引きひもを反射板の穴に通してから、反射板を本体にはめ込む。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

6 ランプを確実に取付ける

可動側のソケット (受け板部が白色) より差し込む。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

7 点灯を確認する

- (1) 非常点灯しない場合
 - ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
 - ・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
 - ・蓄電池は48時間以上充電してありますか。
- (2) 充電インジケータ (緑色の表示ランプ) が点灯しない場合
 - ・電源は通電されていますか。
 - ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
 - ・蓄電池、非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。